

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

1. 特色ある取組みの状況

当行は、「地域密着型金融推進計画」に掲げた各種施策に積極的に取組むことにより、「地域貢献No.1銀行」、「お客様満足度No.1銀行」を目指しています。

当行では、環境問題への取組みと「小さな親切」運動への能動的な関わりを企業の社会的責任（CSR）の大きな柱として位置付けています。

また、各種セミナーの開催や金融に関する相談にお応えする「情報プラザ」の開設のほか、「ローンプラザ」の拡充や、手数料割引等の特典を付与したポイントサービスを開始するなど、お客様の利便性の向上に努めています。このような施策の推進は、当行が目指す「地域貢献No.1銀行」、「お客様満足度No.1銀行」に向けた取組みを特色のあるものに行っていると考えています。

2. 主な取組み成果

（事業再生・中小企業金融の円滑化に向けた取組み）

- ① 中小企業再生支援協議会を積極的に活用し、取引先中小企業の事業再生に努めています。平成17年4月から平成18年3月までの再生承認先は12先となっています。
- ② 中小企業が有する技術等の専門的な知識を補うため、平成18年1月には、崇城大学と業務協力協定を締結し、目利き機能を強化しました。
- ③ 広く地域の中小企業の方々にビジネス・マッチング情報を提供する大規模商談会を毎年継続しています。また、お取引先企業の経営相談や経営支援を通じたM&A業務やビジネス・マッチング業務の機能充実を図り、平成17年10月から平成18年3月までの間に、M&Aが1件、ビジネス・マッチングが8件成立しました。
- ④ お取引先企業の経営支援を目的としたセミナーを半期に1回の頻度で行っています。平成18年2月には、外部講師を招いたセミナーを開催し、57社・計59名の参加を得ました。
- ⑤ 担保や保証に過度に依存しない融資を推進する中で、中小企業金融公庫と提携した平成17年12月の「第2回熊本ファミリー銀行CLO」では、10先216百万円の融資を行いました。
- ⑥ 経営改善支援の取組み実績（平成17年4月から平成18年3月まで）
経営改善支援取組み先250先のうち、36先の債務者区分がランクアップしました。

（経営力・収益力強化に向けた取組み）

- ① ガバナンスの強化のため、業務監査委員会や経営諮問委員会の一層の充実を図りました。
- ② 平成17年12月から開始しましたポイントサービスは、平成18年3月末で約35,000人のお客さまにお申込をいただきました。

（地域の利用者の利便性向上に向けた取組み）

- ① 当行に来店されたお客さまの声をお聞きするために、店頭に「お客さまご意見箱」を設置しました。また、平成18年2月には、法人・個人あわせた約14,000先に「お客さまアンケート」を行いました。
- ② 環境問題への取組みとして、平成17年9月にISO14001の認証を取得し、平成18年3月には、当行の役職員717名が参加し清掃活動を行うなど、積極的な環境保全活動を行いました。

（平成18年3月31日現在）



■目標とする計数目標・経営指標の実績（平成18年3月31日現在）

項 目	平成17年3月期実績	平成18年3月期実績	平成19年3月期目標計数
コア業務純益	140億円	138億円	148億円
自己資本比率（単体）	7.94%	9.33%	（注）8.8%以上
ランクアップ比率 ※債務者区分の上昇先／経営改善支援取組み先	16.3%	14.4%	25.0%
エコ関連預金商品期末残高 ※本業を通じた環境問題への取組みの一環として	129億円	334億円	400億円
エコ関連融資商品期末残高 ※本業を通じた環境問題への取組みの一環として	6億円	115億円	100億円
中小企業等向け貸出比率 ※当行の貸出残高に占める中小企業等向け貸出残高比率	94.2%	93.5%	95.0%

（注）自己資本比率（単体）の平成19年3月期目標計数は、平成17年8月に策定した時点の「地域密着型金融推進計画」の計数を掲載しています。
その後、平成18年3月に公表した「第6次中期経営計画」において9.7%以上としています。